

平成 28 年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会議事録

平成 28 年 3 月 28 日（月）13 時 00 分より、東京都港区港南 4-5-7、国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス講義棟大講義室において定時社員総会を開催した。

議決権のある当法人社員総数	2,884 名
総社員の議決権の数	2,884 個
出席社員数（委任状による者を含む。）	1,527 名
この議決権の総数	1,527 個
出席代表理事	渡部終五
出席理事	荒井克俊、荒井修亮、飯田貴次、伊藤文成、大越和加、金子豊二、木島明博、佐竹幹雄、青海忠久、東海 正、時村宗春、古谷 研、松山倫也、山下 洋、渡邊良朗
出席監事	青木一郎、瀬川 進

以上のとおり出席があったので、定款の規定により、議長として、松永茂樹氏が推薦され、承認された。松永茂樹氏は、議長席につき、本総会は適法に成立したので開会する旨を宣した。渡部終五会長、中山一郎平成 28 年度春季大会委員長の挨拶の後、議事に入った。

第 1 号議案 平成 27 年度事業報告ならびに貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録承認の件

議長は、平成 27 年度（自平成 27 年 3 月 1 日至平成 28 年 2 月 29 日）における事業状況の説明を総務担当理事に求め、金子豊二は事業報告により詳細に説明報告した。

続いて議長は、平成 27 年度における貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録についての説明を財務担当理事に求め、山下 洋が付属書類により詳細に説明し、その承認を求めたところ、出席者の過半数の賛成によりこれを承認可決した。

第 2 号議案 平成 28・29 年度役員（理事及び監事）選任の件

議長は、定款第 24 条の規定により本総会終結時をもって理事及び監事の全員が任期満了となるため、総務担当理事に理事及び監事選任についての説明を求め、金子豊二は定款、役員候補者選出規程並びに総会における役員を選出手続きに関する申し合わせにもとづいて詳細に説明した。この後、理事及び監事の選任手続きに入り、1 名ずつ理事及び監事選任の審議が行われ、出席者の過半数の賛成により、下記のとおり可決確定した。

役員候補者選出規程第2条第1項に係る理事候補者のうち、
荒井克俊、山下 洋、青海忠久、佐藤秀一、木島明博、塚本勝巳、
和田時夫、萩原篤志、黒倉 寿、良永知義が選任された。

香川浩彦は上記10名の補欠の理事として選任された。

役員候補者選出規程第2条第2項に係る理事候補者のうち、
北海道支部担当 安井 肇が選任された。足立伸次は補欠の理
事として選任された。

東北支部担当 秋山秀樹が選任された。吾妻行雄は補欠の理
事として選任された。

関東支部担当 菅野信弘が選任された。中山一郎は補欠の理
事として選任された。

中部支部担当 古丸 明が選任された。宮台俊明は補欠の理
事として選任された。

近畿支部担当 荒井修亮が選任された。左子芳彦は補欠の理
事として選任された。

中国・四国支部担当 山本民次が選任された。南 卓志は補
欠の理事として選任された。

九州支部担当 中田英昭が選任された。望岡典隆は補欠の理
事として選任された。

役員候補者選出規程第2条第1項に係る監事候補者のうち、
青木一郎、北田修一が選任された。川合真一郎は補欠の監事とし
て選任された。

役員選出規程第2条第6項に係る監事候補者のうち、
所 英樹が選任された。

報告事項 別添資料に基づき、次のとおり報告があった。

- (1) 総務担当理事金子豊二が平成28年度事業計画について報告した。
- (2) 財務担当理事山下 洋が平成28年度正味財産増減予算書及び正味財
産増減予算書内訳表について報告した。

議長は、議事録作成者として出席理事の中から渡部終五を指名した後、以上
をもって本日の議事を終了した旨を述べ、14時10分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、議長及び議事録作成者
がこれに記名押印する。

平成 28 年 3 月 28 日

平成 28 年度公益社団法人日本水産学会定時社員総会

議 長

印

議事録作成者
代表理事（会長）

印